

第2回 未来創造セミナー実績報告

平成27年9月18日
草津市総合政策部草津未来研究所

1. 第2回 未来創造セミナー概要

(1) テーマ、目的等

①テーマ

「みんなで子育てしやすいまちを考えよう！子育ては社会の結晶（クリスタル）！」

②連携

子ども家庭部子ども・子育て推進室

③目的

- ・ 認定子ども園、及びぽかぽかタウンの認知、
- ・ アンケートでは見えない市民の意識を市民と対等な立場で対話することにより、今後の政策形成に役立てる。

(2) 日時：8月25日（火）14：00～から

(3) 場所：市民交流プラザ 大会議室

(4) 当日のスケジュール

14：00	ご挨拶 （草津市総合政策部草津未来研究所 副所長 山本 憲一）
14：05 ～ 14：20	問い 「草津市の子育てについて」 （草津市総合政策部草津未来研究所）
14：20 ～ 14：40	ヒントでヒント！ 「子育ては社会の結晶（クリスタル）！」 小沢 道紀 先生（草津未来研究所副所長・立命館大学スポーツ健康科学部）
14：40 ～ 16：20	ワークショップ 「みんなで子育てしやすいまちを考えよう！」 ファシリテータ 三井ハルコさん （川西市男女共同参画センター長）
16：20 ～ 16：25	まとめ
16：25	閉会

2. 第2回未来創造セミナーの内容について

(1) アンケートの説明

草津未来研究所より平成25年度に実施した子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果を解説しました（別途巻末の当日配布資料参照）

(2) ワークショップのヒント

そのあと、子育てしやすいまちを考える上でのヒントを小沢立命館大学准教授にお話をいただきました。



写真1. アンケートの結果説明



写真2. ワークショップのヒント

・子育ては社会の結晶（クリスタル）！」の意味

子育ては自助（親子です）、共助（仲間と一緒にする）、公助（行政と一緒にする）という助け合いの組み合わせで行います。それぞれの得手不得手などにより、助け合いの組み合わせが変わります。ある人にとって自助であるものがある人にとっては共助として提供してもらったものであったり、共助として提供するものであったりします。

このように究極の子育ては、個々人にあった多様な助け合いの組み合わせが、個々人にとってクリスタルのような輝きを放つ、そのクリスタルが集まった社会は子育てしやすいまちということから、「子育ては社会の結晶（クリスタル）！」としました。

(3) ワークショップの進め方

ワークショップは下表のように進める予定でしたが、当日は台風が近づいていることもあり、可能な限り時間を短縮する方向で進めることとしました。

14:40 ~ 14:55	自己紹介
14:55 ~ 15:15	課題だし
15:15 ~ 16:00	クリスタルを作る

16:00 ~ 16:20

クリスタルの発表

(4) ワークショップ 課題だし

川西市男女共同参画センター長の三井ハルコさんにワークショップのファシリテータをお願いしました。まずはグループで草津市の子育てに関する課題を挙げていただきました。



写真 ワークショップの様子

課題だし一覧

- 医療費を中学生まで無料に！
- 大きな公園（小さい子だけでなく、誰でも遊べるような）がほしい！
- 団塊の世代（シルバー世代）と子育て世代のマッチングができないだろうか？
- 平日が母子家庭みたいなので、男性の平日の育児参加が必要！
- 趣味などをする時間がほしい！
- 子育てと母親（子供に集中するのではなく）をまとめた愚痴なんかを聞いてもらえるようなサポートがほしい！
- 循環社会とハード・ソフト（子供と大人を大家族に考える。）を生み出していく。できることからやっていく。口コミ、お母さんのネットワーク、こういった仕組みをつくっていく！
- 子どもから親へ、子どもが親に・・・こんな循環をうまく大家族として生み出していく。

- 外国人の方など多様な支援、多様な家族形態へのサポート。仕事の仕方にあわせた助けなど子育てに関する柔軟な利用の仕方がほしい！
- 小学校と地域・世代間のつながり、緊急時の相談、いろんな人がつながれる、気軽に行ける場所があり、相談ができればいい！

(5) ワークショップ クリスタル！

そのあと投票で各自が話し合いたいテーマを選び、議論する予定でしたが、当日は台風の影響もあり、同じグループで引き続き、課題について話し合っていました。

各グループがワークショップで作成した模造紙については巻末に掲載しています。

(6) ワークショップ まとめ

- 当日は台風が近づいていたこともあり、ワークショップの時間を詰めたこと、その影響で進め方を変更したこと、等により、深く議論することができませんでした。
 - ・ アンケート結果でも、「時間が短くて、(笑) 何度も何回も実施していく必要があると思います。」「台風で話す時間短縮が残念でした。でも、テーマに沿って深く掘り下げた話が出来、良かった。」等ポジティブなコメントをいただきました。
- 未来創造セミナーは、対話のきっかけづくりであるため、担当課の方で今後継続等検討いただければと考えています。
 - ・ 子ども・子育て推進室の場合、本セミナーを「ぽかぽかソン」の導入セミナーとして位置づけており、継続性は予め担保されていました。

(7) 子ども・子育て推進室としてのまとめ

- 本セミナーは、ぽかぽかタウンをリニューアルするための「ぽかぽかソン」への導入セミナーとして位置づけており、会場からもぽかぽかソンの参加申込があり、一定の成果を上げたと評価しています。
- 本セミナーの成果は、参加した担当課（子ども・子育て推進室）が様々な政策に直接間接に活かしていくこととなります。

3. 未来創造セミナーとしてのまとめ

(1) 参加者属性

子ども・子育て推進室との連携のため、子育てサークルの方々を中心に参加していただきました。学生の参加も働きかけましたが、当日は夏季休暇中のため、出席いただけませんでした。子育てがテーマですので、会場を半分に仕切り、子どもの遊び場所を設けたため、お子様連れの方も多く参加していただきました。ただし、保育士等の専門職を配置しなかったため、参加した保護者の方々が安心しておられたかは不明です。

第1回の時点で第2回の開催日時が決定していたため、平日夜間や土日に変更できなかったため、女性が中心になりましたが、本来は男性の参加が求められるテーマでした。

可能な限り多様な立場の人に参加していただく空間づくりが未来創造セミナーの目的もあり、多様な立場の人がより参加しやすい時間、参加しやすい空間づくりを引き続き検討する必要があります。

(1) 属性別参加状況

属性	人数
市民	21
学生	0
企業	0
大学	1
職員	10
合計	32

(2) 性別参加状況

性別	人数
男	5
女	27
その他	0
合計	32

(3) 年代別参加状況

年代	人数
10代	0
20代	0
30代	1
40代	8
50代	1
60代	1
不明	21
合計	32

(2) アンケート集計結果

セミナーの運営等全般、セミナーの内容についてはいずれも高評価を得ることができましたが、もともと関心のある方々ばかりでしたので、謙虚に受け止める必要があります。アンケートでもご意見をいただきましたが、市が呼びかける場合、呼びかけるルートや開催する時間がほぼ固定しているため、いつも同じ顔ふれになりがちなので、ぜひ話したいのにこのような場所を知らない人、知っているけれど一歩踏み出せないでいる人、楽しそうに議論している様子を見てテーマに関心を持つかも知れない人など多様な立場の人が気軽に参加できるような空間づくりを考えていく必要があります。

(回答数：17人)

問い	非常に有意義	有意義	まあまあ	物足りない	非常に物足りない	合計
運営等全般	3	9	3	0	1 (短い)	16
内容	3	12	1	0	0	16
問い	大いに活かせる		いくらか活かせる		ほとんど活かさない	合計
今後の活動	6		9			15
問い	適切		長い		短い	合計
時間	11		4		1	16
問い	適切	曜日が不適切	時間帯が不適切	曜日も時間帯も不適切	短い	合計
開催日時	5	0	7	4		16

- * アンケート回答は17名でしたが、1名はコメントのみでした。
- * 「今後の活動」が1名少ないのは、「活かせるかどうかわからない」ため。

(3) セミナー参加者の主な意見

気軽に自由に話し合える空間の演出については一定程度の評価を得ています。アンケートでも前向きな意見を多くいただきました。このような空間のニーズはあるように考えています。3回目以降は都市計画やまちづくりにテーマを変えても有効かを検討していく予定です。

- 数値から実際の実感を話し合うことが出来る流れ、今んな（原文ママ）方の楽しい話。
- 気軽に話せる雰囲気だったので話しやすかったです。話が盛り上がってワクワクしました。次につながるといいなあと思います。
- こうやって行政の方、大学の方、市民がざっくばらんに話せる機会がもてていることがそもそも素晴らしい。
- 問題意識を持たないで来ましたが、色々考える機会になりました。こういう所から未来創造というものがあるのかなと思いました。
- 広報の仕方、口コミの仕方、デザイン、わくわく感、おもしろ感をもっとたくさん出す。おもしろ感→やっている人が楽しくなる様な、やっている人が次の人をつれてくれるしくみ
- 何もしないよりは、こういうことやってます！と発表したり、どう思いますか？と聞いたり、話し合ったりすることは有意義なことだと思います。
- 色々な考えを聞いたのは良かったです（私の子供は小さいけれどももう少し大きくなったら、そういう問題も出てくるなあ、、、とか）実際、市役所ではこういう風にしてますとか直接職員の方と話せたり、立場の違う方と話せて良かったです。
- 活かせるかどうかわかりませんが、活かして欲しいと思う。せっかく話合ったのだから（原文ママ）
- いつも同じ顔ふれになりがちなので、ぜひ話したいのにこのような場所を知らない人、知っているけれど一歩踏み出せないでいる人、楽しそうに議論している様子を見てテ

テーマに関心を持つかも知れない人などいろんな人が気軽に参加できるように考えてほしい。

一方で、次のようなご意見もいただきました。安易にお子様連れOKとするのではなく、テーマによってはお断りしたり、別室託児サービスを準備したり、などの配慮が必要なことに気づかされました。

- 母たちの話を本格的に聞いたら、別室託児でもいいと思った。
- 子どもOKのセミナーでわかっていることやのに小さい子どもがたくさん来てるのに一言も子どもに話しかけない男性の職員さんって何なんでしょうね?? びっくり!! ますそこからやん? (原文ママ)

運営面においても以下のようなご意見をいただきました。各テーブルに職員を配置するなど配慮していましたが、職員にファシリテーター等の研修をしていないので、満足な結果を得られなかったグループもあったようです。参加する職員、あるいはファシリテーターのスキルを持つ職員をフリーで各グループを巡回させるなどの工夫が必要なのことがわかりました。

- 私のいたテーブルは当たり(?)だったようで、とても楽しい有意義な時間を過ごせましたが、お友達のいたテーブルは、終始雑談で何だかなあ…。と思ったようです。同じセミナーにせっかく参加したのだから、できるだけみんなが楽しくすごせた方が良かったのになあ…。と思います。(私は、よくセミナーに行くけど、友達は初めてです。) 初めて来た人にこそ、楽しいやん。また来てもいいな。と思ってもらった方がよいのでは? 様子みて、席かえとか、あっても良かったのかな? と思いましたが、どうでしょう。初参加の人に、雑談では、次来ないよ。(原文ママ)

(4) 未来研究所としての成果

- 第1回セミナーの反省を踏まえ、「クリスタル」というキーワードを設定しました。このキーワードで、会場が和やかな雰囲気になった効果はあったと考えています。
- 今回は子育てがテーマであったため、子ども・子育て推進室と連携し、会場の一角にプレイコーナーを設けました。子育てをテーマにしたワークショップで子どもの声が聞こえることを肯定的に捉える参加者もいましたが、一方で、子どもに対するケアが不十分であるとの意見をいただきました。

(5) 今後の課題

- 2回のセミナーで気軽に自由に話せる空間づくりについては問題ないと考えますが、専門性、及び次の活動に繋げる実行性・継続性という面が今後の課題です。
- 課題解決のためには、大学や商工会議所、まちづくりセンターとの連携が必要であり、次回第3回セミナーは大学研究室との連携を検討したいと考えています。

以上